



# 西中学校だより 12月号

## 記憶力は伸びるのか

羽生市立西中学校長 角屋房男

本校が、学校全体で取り組んでいるテーマは、「学力の定着と規律ある態度の育成」です。日ごろの授業では、自立し社会で活躍するための基礎づくりを、子どもたちの学び合いを通して進めているところです。例えば、考える力や判断する力、自分の考えを表現し、相手の考えを聞く力を身に付けるために、学習する形を、ペア学習やグループ学習にして、より子ども同士の学び合いがしやすいように実践しています。

また、家庭学習を定着するため、各学年廊下に設置したホワイトボードを活用し、教科担当からの宿題や学習の仕方などを提示したり、家庭学習の実施などを記録するルーティンチェック表に記入をしたりしています。また、放課後の補充学習や長期休業中の補習なども実施しています。日ごろの授業の充実と家庭学習の定着が、学ぶ意欲につながり、互いの成果を上げることにつながっていくと考えています。

さて、「最近、年をとったせいか、記憶力が低下したような気がする。」と思うことがあります。しかし、自分の年齢は、まだ老年期ではないはず。この記憶力の低下は、脳科学からみても、何の根拠もないことです。事実、社会でさらに磨きをかけて活躍している方々は、たくさんいます。

脳科学者の説によると、脳のネットワークから考えれば、年をとるほど記憶システムは充実してくると唱える学者もいるのです。記憶力の低下を感じる人と、さらに磨きをかけて活躍している人との差は何でしょうか。一番大きいのは、「習慣」の違いです。それは、「復習の習慣」があるかないかです。

家庭での勉強の仕方に、予習・復習があります。授業に臨むのに予習をし、帰宅したら復習をする。この「復習の習慣」が、記憶力を維持し、高めているのです。年をとったから記憶力が低下したと考えるのではなく、「復習の習慣」がなくなっているのです。

それでは、大人の話から子どもの話へ移ります。第2学期の期末試験が終了し、その結果が返される時期になりました。問題解説があり、正答が知らされます。誤った解答は、そのままにしないで、すぐに復習をします。その復習が、記憶力の伸びにつながっていきます。

### 埼玉県学校歯科保健コンクール 最優秀賞 受賞

11月12日(木)埼玉県学校歯科保健コンクール実施審査が行われました。その結果、西中は最優秀賞を受賞しました。これで、平成元年から27回目の受賞となりました。

## 西中生の活躍 11月の学校行事

11月18日(水)1日総合学習が行われました。1年生は福祉施設体験、2年生は上級学校訪問、さきたま古墳での野外活動を実施しました。また、2日(月)にはバギオ市からの青少年使節団の訪問があり、英語の授業に参加するなど交流を深めました。

### バギオ使節団訪問



### いい歯の集会



### 1日総合学習



### 生徒会引継ぎ式



### 市長ふれあい訪問



### 世界キャラクターサミット



## 12月の行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	全校朝会	17	木	
2	水		18	金	
3	木		19	土	
4	金	2学期末PTA	20	日	
5	土		21	月	家庭読書の日
6	日		22	火	給食終了 大掃除⑤
7	月		23	水	
8	火		24	木	第2学期終業式 PTA進路激励会
9	水		25	金	冬季休業日～1/6
10	木	家庭読書の日 羽生市プレゼンテーションコンクール	26	土	
11	金	学校1日公開日 合同出前授業2年	27	日	
12	土		28	月	PTA冬季巡視
13	日		29	火	休日
14	月	月例費引き落とし 専門委員会	30	水	休日
15	火	大道遺跡授業1年	31	木	休日
16	水				

